

方向性5

ひとが集い働く、
魅力と活力にあふれるまちへ



施策体系

5-1 都市の魅力を高める

- 5-1-1 3都心などの魅力向上
- 5-1-2 都市の国際性の向上
- 5-1-3 観光の振興と魅力の創出・発信

5-2 地域経済を活性化する

- 5-2-1 産業の振興
- 5-2-2 新事業の創出
- 5-2-3 商業・サービス産業の振興
- 5-2-4 物流・港湾機能の強化
- 5-2-5 勤労者の支援と雇用の創出

5-3 都市農林業を振興する

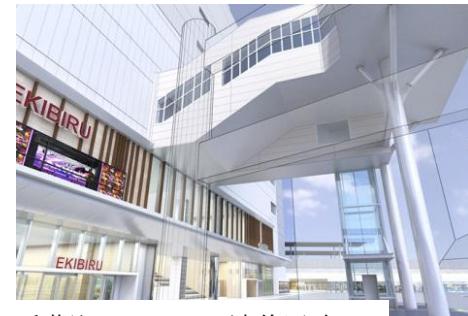
- 5-3-1 新鮮で安全・安心な農畜産物の安定供給
- 5-3-2 安定した農業経営体の育成
- 5-3-3 農村と森林の持つ多面的機能の活用

5-1 都市の魅力を高める

5-1-1 3都心などの魅力向上

施策の展開

- 千葉都心については、JR千葉駅や駅ビルの建替えが進んでおり、県都の玄関口にふさわしい魅力ある空間の創出や、地域経済の活性化、雇用の創出などが期待されています。
- 千葉都心全体の将来像や方向性を示すグランドデザインに基づき、活性化施策を推進するとともに、千葉駅西口に新たな賑わいを創出するため民間活力による再開発を進めるほか、千葉駅東口駅前の民間再開発を促進するなど、一層の機能充実や魅力の向上を図ります。
- また、千葉駅周辺の活性化にとどまらず、歴史的資産を生かした特色あるまちづくりや中心市街地の回遊性の向上などを通じ、魅力ある千葉都心の形成を図ります。
- 幕張新都心については、幕張メッセをはじめ、業務研究ビルや教育・研究施設、ホテル・商業施設及び住宅整備など、「職・遊・学・住」の複合機能の集積が進み、就業者・居住者・就学者及び新都心への来訪者を合わせると、日々約26万人が活動するまちとなっています。幕張新都心の魅力を高め、交流人口の増加を図るため、公共空間を活用した民間活力による賑わいの向上や国際性豊かな住宅開発を促進するとともに、海辺も含めた新都心全体の回遊性の向上を図る取組みを進めます。
- 蘇我副都心については、民間による事業などの誘導などにより、整備された土地の有効活用を図るとともに、フクダ電子アリーナやジェフユナイテッド市原・千葉などのスポーツをテーマとした効果的なまちづくりを進めます。



千葉駅モノレール連絡通路

計画事業

1 千葉都心の育成・整備

●千葉駅周辺の活性化の推進（まちづくり推進課）

千葉都心全体の将来像や取組みの方向性を示すため、千葉駅周辺の活性化グランドデザインを策定するとともに、グランドデザインに基づき、まちづくりを推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
グランドデザインに基づく取組み	グランドデザイン（案）の作成	グランドデザイン策定 西銀座地区等の整備 基本構想	グランドデザイン策定 西銀座地区等の整備 基本構想
中央公園・通町公園の見直し・拡充	—	整備検討	整備検討

● JR千葉駅建替えの促進（まちづくり推進課）

千葉駅周辺の魅力向上と利便性の向上を図るため、JRとモノレールを連絡する通路などを整備します。また、千葉駅西口広場とJR千葉駅の駅ビルを接続するデッキの整備を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
モノレール駅連絡通路の整備	モノレール駅舎設備改修設計	工事	供用開始
北部階段の整備	ボーリング調査	工事	供用開始
接続デッキの整備	工事（JR）	工事（JR）	供用開始

● モノレール千葉駅舎の改修（交通政策課）【新規】

千葉駅利用者の利便性と快適性の向上を図るため、モノレール千葉駅舎の改修等を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
モノレール千葉駅舎の改修	—	実施設計、工事	工事

● 千葉駅西口地区第二種市街地再開発（B工区）（まちづくり推進課）【再掲】

千葉都心の土地の高度利用と建築物の機能更新のため、医療などの機能を駅前に導入するとともに、新たな賑わいを創出する再開発ビルの整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
再開発ビルB棟の整備	都市計画変更協議	工事	供用開始
公共施設整備	公共施設管理者との協議	Eデッキ桁製作、下水道工事、新千葉公園整備工事	供用開始

● 千葉駅東口地区第一種市街地再開発（まちづくり推進課）【再掲】

千葉都心の土地の高度利用と建築物の機能更新のため、千葉駅東口地区の第一種市街地再開発を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
再開発ビル整備助成	関係者協議	整備助成	整備助成
公共施設整備（駅前広場改修など）	関係者協議	駅前広場改修	駅前広場改修

● 中心市街地活性化の推進（まちづくり推進課）

中心市街地の活性化を図るため、主要公共施設や観光施設などに関する分かりやすい案内板を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
案内板整備	34基	5基	39基

●千葉中央港地区まちづくりの推進（まちづくり推進課）【再掲】

都心の機能強化や海を活かしたまちづくりを推進するため、旅客船さん橋等を整備するとともに、旅客船の運航実験を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
旅客船ふ頭の整備	埋立（第1期）	桟橋1基整備、港びらき 港湾整備（第2期）	一部供用開始
公園緑地整備	実施設計	工事	一部供用開始
旅客船の運航実験	27回	9回	36回

2 幕張新都心の整備

●幕張新都心賑わいの向上（政策企画課）【新規】

幕張新都心の魅力を高め、交流人口の増加を図るため、「幕張新都心都市再生整備計画」を策定し、民間活力による賑わい向上に取り組みます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
都市再生整備計画の策定	—	策定	策定
賑わい向上の取組み	—	実施	実施

■幕張新都心における住宅整備促進（政策企画課）

「職・住・学・遊」の複合機能が集積した、国際性豊かなまちづくりを推進するため、若葉住宅地区等の土地分譲を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
若葉住宅地区の整備促進	土地分譲事業者決定	土地分譲	土地分譲
幕張ベイタウンの整備促進	9,092戸	308戸	9,400戸

●QVCマリンフィールドの充実（施設の充実）（公園管理課）

QVCマリンフィールドの来場者の安全性や快適性の向上のため、施設の改修を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
施設更新	中央監視装置・音響 システムの改修、 観客用トイレ改修	身障者席増設 実施設計、スコアボード改修、 バックネット交換、 夜間フィールド照明灯 改修 実施設計 中継モニター交換	身障者席増設 実施設計、スコアボード改修、 バックネット交換、 夜間フィールド照明灯 改修 実施設計 中継モニター交換

●幕張新都心コミュニティサイクルの社会実験（政策企画課）

幕張新都心の回遊性などの向上のため、「コミュニティサイクル」に関する調査を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
コミュニティサイクルに関する調査	社会実験	調査	調査

●海辺の活性化（海浜公園及び人工海浜）（緑政課、美浜公園緑地事務所）【再掲】

海辺の活性化を推進するため、イベントを開催するとともに、回遊性向上のため、自転車走行案内板を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
幕張海浜公園の活性化	防風林再生 調査	イベント開催 防風林再生 実証実験	イベント開催 防風林再生 実証実験
回遊性の向上	—	自転車走行案内板設置	自転車走行案内板設置

3 蘇我副都心の整備

●蘇我駅周辺地区の整備（まちづくり推進課）

蘇我副都心の交通結節機能を高めるため、蘇我駅東口駅前広場の整備を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
東口駅前広場整備	基本設計	道路・交差点予備設計他	道路・交差点予備設計他

●公園緑地の整備（公園建設課）【再掲】

本市のスポーツ・レクリエーション及び広域的な防災の拠点とするため、蘇我スポーツ公園の整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
蘇我スポーツ公園	供用 30.7ha 用地取得 22.8ha	施設整備（第4工区） 4.6ha	供用 36.9ha 27.4ha

●フクダ電子アリーナの充実（公園施設の充実）（公園管理課）

フクダ電子アリーナの競技環境を改善するため、フィールドの芝生の張替えの準備を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
施設改修	—	フィールド芝の圃場づくり	フィールド芝の圃場づくり

参加と連携 ~市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



1 中心市街地活性化の推進

中心市街地に賑わいを創出するため、中心市街地まちづくり協議会（商工会議所）などとともに、地元主導による各種イベント開催を支援します。

☎ 産業支援課 (043-245-5277)

5-1-2 都市の国際性の向上

施策の展開

- 本市は、人口や経済の集積規模において、東京を中心とした大都市圏に位置し、成田国際空港に近い立地特性や、幕張メッセなど国際コンベンション機能を有する強みがあります。
- こうした圏域としての魅力や特色を最大限活用し、新たな需要や雇用を生み出す産業を育成するなど、国内のみならず、海外からもビジネスや生活の場として選ばれ、グローバルに業務を展開する企業活動を可能とする環境整備を進めます。
- MICE誘致については、MICE開催地としての魅力や誘致競争力の向上を図るため、国際会議に加えコンベンションを開催する主催者に対し助成するとともに、来訪者の快適な滞在環境を整備します。

計画事業

● MICEの推進（集客観光課）

地域経済の活性化や幕張新都心の賑わいの創出を図るため、国際会議やコンベンション開催に助成するとともに、イベント開催に伴う観光PRや来訪者へのおもてなし環境を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
国際会議助成	3件	7件	10件
コンベンション等助成	助成制度改正	10件	10件
来訪者の滞在環境の整備	公衆無線LAN環境整備 2か所	来訪者おもてなし環境の整備	来訪者おもてなし環境の整備
レッドブル・エアレース千葉 2015 開催に合わせた観光PR	—	実施	実施

■ 次期国際化推進プランの策定（国際交流課）【再掲】

本市における国際化施策を総合的に推進するため、次期国際化推進プランを策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
次期国際化推進プランの策定	—	策定	策定

■ 姉妹・友好都市との交流推進（国際交流課） 【再掲】

姉妹・友好都市と経済・観光・文化などの分野において、より発展的な関係を築くため、交流事業を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
姉妹・友好都市交流	1市(26年度事業量)	7市	7市
青少年交流	3市(26年度事業量)	3市	3市

●国際交流ボランティアリーダーの育成（国際交流課）  【新規】【再掲】

本市の国際化を推進するため、国際交流ボランティアリーダーを発掘・育成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
国際交流ボランティアリーダー会議の開催	—	3回/年	3回/年
国際交流ボランティア講座の開催	—	1コース/年	1コース/年

5-1-3 観光の振興と魅力の創出・発信

施策の展開

- 人口の東京都心回帰や都市間競争が活発化する中、本市に住んでみたい・訪れてみたいと感じてもらうためには、本市の魅力を最大限引き出し、東京とは異なる価値観を提示できる都市づくりを進める必要があります。そのため、東京と房総半島の中間に位置するとともに、都市部と田園部の両面を持ち、自然や歴史・文化など、様々な魅力を有する本市固有の都市イメージの基礎となる「都市アイデンティティ（千葉市らしさ）」を確立するとともに、中長期的な視点で戦略的な施策展開を図ります。
- 集客観光の推進については、メディアを活用して、ターゲットを意識したより訴求性の高い情報発信や旅行商品の開発を進めるとともに、本市が成田、羽田両空港から近距離にあることやMICE開催地としての幕張新都心などの受入れ環境を生かし、主に東南アジアからの観光客を対象とした観光資源の開発やセールス活動を進めます。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、オールジャパンの一員として大会成功への積極的な連携・協力と、スポーツ文化の普及・発展、市内への集客・宿泊の最大化、本市の知名度の向上など、本市のより一層の発展につなげる観点から、取組みを推進します。



計画事業

1 都市アイデンティティの確立と魅力づくり

●都市アイデンティティの確立（政策調整課）

住んでみたい・訪れてみたいと感じてもらえる都市を目指し、本市固有の都市アイデンティティを確立するとともに、本市の魅力向上につながる効果的なプロモーションを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
都市アイデンティティの確立	調査	戦略プラン策定、広報・プロモーション	戦略プラン策定、広報・プロモーション

●千葉中央港地区まちづくりの推進（まちづくり推進課）【再掲】

都心の機能強化や海を活かしたまちづくりを推進するため、旅客船さん橋等を整備するとともに、旅客船の運航実験を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
旅客船ふ頭の整備	埋立（第1期）	桟橋1基整備、港びらき 港湾整備（第2期）	一部供用開始
公園緑地整備	実施設計	工事	一部供用開始
旅客船の運航実験	27回	9回	36回

●稲毛海浜公園の再整備（緑政課、公園管理課、美浜公園緑地事務所、公園建設課）【再掲】

海辺の活性化を推進するため、活性化グランドデザインを策定するとともに、稲毛海浜公園の再整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
海辺の活性化グランドデザインの策定	案作成	策定	策定
再整備	基本計画（案）作成	基本計画策定、基本設計（全体）、実施設計・工事（一部エリア）	工事（一部エリア）
施設改修	—	施設長寿命化計画策定	施設長寿命化計画策定

●海辺の活性化（海浜公園及び人工海浜）（緑政課、美浜公園緑地事務所）【再掲】

海辺の活性化を推進するため、イベントを開催するとともに、回遊性向上のため、自転車走行案内板を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
幕張海浜公園の活性化	防風林再生 調査	イベント開催 防風林再生 実証実験	イベント開催 防風林再生 実証実験
回遊性の向上	—	自転車走行案内板設置	自転車走行案内板設置

●動物公園の展示のリニューアル（動物公園）【再掲】

市民に身近な集客観光施設として、動物公園の再生を図るため、ゾーニングの見直しや動物の再配置・新規導入等を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
子どもゾーンの整備	基本・実施設計	工事	供用開始
平原ゾーンの整備	ライオン等展示場 実施設計 チーター等展示場 —	工事 実施設計	供用開始 実施設計
ウェルカム動物展示場の整備	—	実施設計（正門）	実施設計（正門）

■サイクルツーリズムの推進（集客観光課）

自転車を通じた観光振興を図るため、サイクルツーリズムを推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
サイクルツーリズムの推進	推進計画策定	ルート設定、サイクリスト受入体制の構築、県サイクルツーリズム広域連携事業への参加	サイクリングコースの公表

●若葉区若年世代定住化の促進（若葉区役所地域振興課）【新規】

若年世代の定住化を促進するため、若葉区の自然や農業を活かした子育て支援の調査と普及啓発を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
若葉区子育てサポート支援	－	活動紹介・普及啓発 自然と農を活かした子育て支援マッチング調査、サポート活動立上げ支援 2団体	サポート活動立上げ支援 2団体

2 集客プロモーションの推進

●集客プロモーションの推進（集客観光課）

新たな観光需要の創出など、集客観光を推進するため、メディアを通じた情報発信や旅行商品の開発を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
情報発信機能の充実強化	観光情報サイトリニューアル、観光PR大使の活用	観光情報サイトの充実、観光PR大使の活用	観光情報サイトの充実、観光PR大使の活用
インバウンドの推進	海外セールス	海外セールス	海外セールス
市内旅行商品の開発	体験型ツアー	商品開発、集客キャンペーン	商品開発、集客キャンペーン

●若葉区の魅力発信（若葉区役所地域振興課）



豊かな自然環境や歴史・文化、農業など若葉区の地域資源の魅力を区民一人ひとりにPRするため、区民参加による情報発信を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
中学生が作るホームページ	中学校 4校	4校	8校

● 美浜区の魅力発信（美浜区役所地域振興課）

効果的に美浜区の魅力を発信するため、人財バンクを活用したスクールの開催や、区ホームページの活用による地域資源の情報発信を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
人財バンクを活用したスクールの開催	3回/年	3回/年	3回/年

● MICEの推進（集客観光課）【再掲】

地域経済の活性化や幕張新都心の賑わいの創出を図るため、イベント開催に伴う観光PRや来訪者へのおもてなし環境を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
来訪者の滞在環境の整備	公衆無線LAN環境整備 2か所	来訪者おもてなし環境の整備	来訪者おもてなし環境の整備
レッドブル・エアレース千葉 2015 開催に合わせた観光PR	—	実施	実施

3 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組み

● 事前キャンプ誘致の推進（政策調整課）【新規】

事前キャンプ誘致に向けて、本市の施設等を国内外へ効果的にアピールします。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
事前キャンプ誘致の推進	—	パンフレット・ホームページ作成、誘致PR活動	パンフレット・ホームページ作成、誘致PR活動

● 国際交流ボランティアリーダーの育成（国際交流課） 【新規】【再掲】

本市の国際化を推進するため、国際交流ボランティアリーダーを発掘・育成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
国際交流ボランティアリーダー会議の開催	—	3回/年	3回/年
国際交流ボランティア講座の開催	—	1コース/年	1コース/年

●障害者スポーツの推進（スポーツ振興課）【再掲】

障害者スポーツを推進するため、障害者スポーツ指導員の資格取得の支援などを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
資格取得支援	100人	100人	200人
障害者アスリートによる出前授業	—	2回/年	2回/年
車椅子スポーツ予選会の新規開催支援	—	2大会	2大会

5-2 地域経済を活性化する

5-2-1 産業の振興

施策の展開

- ⊕ 本市では、雇用力の大きい製造業及び成長が見込まれる先端技術産業等を中心に企業誘致を進めており、製造業など一定の集積が進んでいます。
- ⊕ 今後、さらに税源の涵養や雇用の創出を図るため、医療、福祉、健康関連など、今後の成長が期待される産業分野の集積を促進するとともに、新たな産業用地の確保に向けた取組みを進めるほか、市内企業の追加投資や本市への拠点集約をさらに促進するなど、立地支援の一層の拡充を図ります。
- ⊕ また、本市は東京近郊にあって比較的安い地価や、豊富な大学など安定的な人材供給力を有しています。市ビジネス支援センターや千葉大亥鼻イノベーションプラザなどを有効活用し、チャレンジ精神に富む人材や企業の輩出、成長期にある企業を育成する商品開発や販路開拓を支援するなど、新しいビジネスや次世代をリードする新事業、新産業の創出に積極的に取り組みます。
- ⊕ さらに、市民生活を支える持続性の高い地域経済を構築するため、中小企業や小規模事業者の継続的な成長の支援や、市内産品等の高付加価値化を図るとともに、中小企業を取り巻く厳しい経営環境を踏まえ、中小企業の資金繰りを支援します。
- ⊕ このほか、海外への販路拡大など海外競争力の強化を図る市内企業を支援するとともに、税源の涵養や雇用の創出などを図るため、外国企業の企業の市内進出を促進します。



新港・中央港地区



商品アドバイス会

計画事業

●企業立地の促進（産業支援課、道路計画課）

地域経済の活性化や市民の雇用創出を図るため、事業所の新規立地などに助成するとともに、産業用地の確保に向けた検討を行います。また、工業団地等へのアクセス改善を図るため、道路改良を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
企業立地促進助成	制度拡充	所有型 14件、賃貸型 31件、累積投資型 3件	所有型 14件、賃貸型 31件、累積投資型 3件
産業用地の確保	事業規模の確定	事業可能性調査、基本構想策定、候補用地選定	候補用地の選定
千葉外房有料道路（大木戸 I C）の改良	調査・設計	用地取得、工事	供用開始
市道東寺山町山王町線等の整備	調査	設計、用地取得 4,800 m ²	設計完了 用地取得完了

●スタートアップ支援の強化（産業支援課）

スタートアップ期にある事業者を支援するため、経営知識等の習得や販路開拓の支援を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
創業者研修	1講座/年	3講座/年増	4講座/年
販路開拓支援	マッチングイベント 1回	トライアル認定事業創設 10件	トライアル認定事業創設 10件

●成長期にある企業の育成支援（産業支援課）

新事業の創出を図るため、成長期にある企業の育成のための商品開発及び販路開拓支援を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
商品開発・販路開拓支援	新規市場開拓支援、 合同商談会、海外展開支援	オープンイノベーション製品開発助成 2件、 新商品・新技術開発助成 2件 販路開拓支援対象企業 (海外 2社)	オープンイノベーション製品開発助成 2件、 新商品・新技術開発助成 2件 販路開拓支援対象企業 (海外 2社)

●市内産品の競争力強化（経済企画課）

市内産品の付加価値を高め競争力強化を図るため、商品アドバイス会やプロモーション活動を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
高付加価値品の販路開拓	—	2店	2店
普及品の販路開拓	—	6店	6店

5-2-2 新事業の創出

施策の展開

- 経済のグローバル化や都市間競争の激化など、本市の経済を取り巻く環境は厳しい状況にあります。社会経済環境の変化に的確に対応し、ビジネスを行ううえで魅力的な都市として発展するためには、市内企業の成長を促進するとともに、新たな企業の立地や起業家精神にあふれる人材を育成するなど、イノベーションの創出や産業の新陳代謝を促す取組みを進める必要があります。
- 起業を促進するため、引き続き、創業者研修による知識習得や資金調達支援、コーディネーターによる相談体制の確立などの支援を行うとともに、スタートアップ期にある事業者の成長を促進するため、販路拡大などのフォローアップ支援を行います。
- また、将来の産業人材の育成に向け、市内企業と大学生のインターンシップのマッチングを行うとともに、関係機関や企業経営者等と連携し、創業者を支援する体制の整備を進めるほか、次代を担う子どもたちの起業家精神を喚起・涵養するための取組みを進めます。



大学生向け合同企業説明会

計画事業

●産業人材の育成（経済企画課）



若者を中心とした産業人材の育成を図るため、児童・生徒を対象に起業塾を実施するとともに、市内企業と大学生のインターンシップのマッチングを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
キッズアントレプレナーシップの拡充	540人/年（4事業）	20人/年増	560人/年
大学生の市内企業への雇用促進	合同企業説明会、企業見学バスツアー 参加学生 100人/年	インターンシップ支援 参加企業 60社/年	インターンシップ支援 参加企業 60社/年

●スタートアップ支援の強化（産業支援課）【再掲】

スタートアップ期にある事業者を支援するため、経営知識等の習得や販路開拓の支援を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
創業者研修	1講座/年	3講座/年増	4講座/年
販路開拓支援	マッチングイベント 1回	トライアル認定事業創設 10件	トライアル認定事業創設 10件

●成長期にある企業の育成支援（産業支援課）【再掲】

新事業の創出を図るため、成長期にある企業の育成のための商品開発及び販路開拓支援を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
商品開発・販路開拓支援	新規市場開拓支援、 合同商談会、海外展 開支援	オープンイノベーショ ン製品開発助成 2件、 新商品・新技術開発助成 2件 販路開拓支援対象企業 (海外 2社)	オープンイノベーショ ン製品開発助成 2件、 新商品・新技術開発助成 2件 販路開拓支援対象企業 (海外 2社)

参加と連携

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



1 子ども起業塾

次世代を担う子どもの起業家精神を喚起し、涵養するため、大学・企業と連携し、地域の商店・ボランティアの協力のもと、経済・金融の仕組みやものづくりの楽しさに触れることのできる、子ども起業塾を毎年、開催しています。

☎ 経済企画課 (043-245-5275)

5-2-3 商業・サービス産業の振興

施策の展開

- 本市は、JR千葉駅周辺をはじめとする商業集積や、交通の結節点である立地の優位性を背景に県内で最大の商圈人口を有していますが、市内店舗数は減少傾向にあり商業環境は厳しさを増しています。
- 多様な消費者ニーズに的確に対応し、市内商業の活性化を図るため、商店街の環境整備などを支援します。

計画事業

● 地域商業者の魅力向上支援（産業支援課）

地域経済の活性化や市民の雇用創出を図るため、魅力ある商店街エリアの環境整備に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
共同施設整備助成	5件(26年度事業量)	5件/年	5件/年
高度化助成	2件(26年度事業量)	1件	3件

参加と連携

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



1 コミュニティビジネスの支援

地域の課題をビジネスの手法を用いて解決する「コミュニティビジネス」を促進するため、市民を対象にコミュニティビジネスの活性化について考えるシンポジウムを開催します。

また、コミュニティビジネスによる創業を目指す方に対して、市コミュニティビジネス推進協議会のネットワークを活用した相談を受け付けます。

☎ 産業支援課 (043-245-5277)

5-2-4 物流・港湾機能の強化

施策の展開

- 近年、長引く景気の低迷や、流通経路の多元化に伴う市場経由率の低下などにより、卸売市場における取扱数量の減少が続いている。市場間競争に対応するため、「市場経営展望」に基づき、将来的な市場のあり方の検討を進めます。また、施設の供用開始から30年余りが経過し、建物や設備が老朽化していることから、施設の改修を進めます。
- 千葉港は、京葉臨海工業地帯の基盤的な港湾として、全国有数の貨物取扱量を誇り、鉄鋼業や石油業をはじめ、地元に立地する企業にとって必要不可欠な港湾となっています。また、首都圏経済の発展等を支える重要な役割を担っているため、老朽化した岸壁など港湾施設の適切な維持・強化を促進します。

計画事業

●市場施設の改修（地方卸売市場）

安全安心な市場機能を維持するため、冷蔵冷凍設備を改修します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
設備改修	エネルギー棟耐震補強及び外壁・屋上防水改修	水産物部冷蔵庫棟 冷凍設備改修 青果部定温庫棟 冷蔵設備改修	水産物部冷蔵庫棟 冷凍設備改修 青果部定温庫棟 冷蔵設備改修

●魅力ある千葉港づくりの推進（まちづくり推進課）

港湾物流機能の充実を図るため、千葉港公共ふ頭の改良や蘇我寒川緑地の整備などを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
千葉港整備（県事業負担金）	中央ふ頭基礎工 70m	千葉中央地区 岸壁、物揚場改良、波除堤防 千葉南部地区 寒川緑地護岸工	千葉中央地区 岸壁改修、物揚場改良、波除堤防完成 千葉南部地区 寒川緑地護岸整備

5-2-5 勤労者の支援と雇用の創出

施策の展開

- ⊕ 就業支援の拠点である千葉市ふるさとハローワーク（稻毛・緑区役所内）において、就労・生活支援や職業相談を行うなど、国や県と連携を深めながら、切れ目のないきめ細やかな相談体制の実現を図ります。
- ⊕ 若者の就職環境は厳しい状況にあるとともに、大学卒業後3年以内の離職率が約3割と高い状況にあります。
- ⊕ 就職活動前のカウンセリングや職業紹介、また、相談を通じて企業が望むスキル習得のための職業訓練へ誘導することにより、雇用のミスマッチの解消を図るとともに、早い段階での職業観の醸成や将来の就職活動がスムーズにいくことを目的に、大学1・2年生と市内中小企業を対象とした合同企業説明会を開催します。
- ⊕ また、本市には大学等への外国人留学生が約1,400人いますが、卒業後に市内事業所等に就職せず帰国する留学生が多いため、就業機会の拡大を図ります。



ふるさとハローワーク（稻毛区役所内）

計画事業

雇用対策の推進（経済企画課）

雇用のミスマッチを解消するため、市内の魅力ある中小企業等の情報を大学等の新卒者などに提供します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
各大学への市内企業データの提供	—	提供	提供

5-3 都市農林業を振興する

5-3-1 新鮮で安全・安心な農畜産物の安定供給

施策の展開

- ✚ 近年、農産物価格は、生鮮野菜を含む輸入農産物の増加により低迷しており、農業をめぐる環境は厳しい状況となっています。こうしたなか、農業の担い手を確保するためには、他の産業と遜色のない所得を農家が得られるような環境整備が必要です。
- ✚ 生産性の向上を図るため、農業経営の安定と生産意欲の維持・向上を図る取組みを進めるとともに、営農指導や技術開発の推進、農作業の省力化や効率化などの改善に取り組みます。
- ✚ また、本市の特色ある都市農業を活かし市内産の農産物を市民に供給し、消費者と生産者がより身近で信頼される関係づくりを目指すため、市内農家とレストラン等との交流会や地場産品レストラン認定制度を創設するなど、地産地消を推進します。
- ✚ さらに、市産品のブランド化や新たな流通支援を進めることにより、本市の加工食品や一次産品の付加価値を高め、食品関連産業や市内農業等の競争力強化を図ります。

計画事業

● 営農指導の充実（農業生産振興課）

農業者の生産性の向上のため、専任アドバイザーを活用した営農指導を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
専任アドバイザーの配置	－	1人	1人

● 農産物の栽培技術の向上（農業生産振興課）

農産物の生産性向上を図るため、農政センターの組織培養部門の一部研究委託を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
培養技術の充実	－	培養技術研究の委託 種苗供給用機器の導入 1台	培養技術研究の委託 種苗供給用機器の導入 1台

● 銀農経営体の育成（農業生産振興課）

乳牛の生乳生産性の向上を図るため、優良後継牛の確保に向け、性別別精液や受精卵の購入に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
性別別精液及び受精卵購入助成	－	120戸	120戸

●農業の6次産業化の推進（農政課）

農家所得の向上を図るため、6次産業化を目指す農業者に対し、支援します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
6次産業化支援	—	1経営体	1経営体

●地産地消の推進（農政課）

市内産農畜産物の供給を促進するため、ホテル・レストラン等との交流会や産地見学会を行います。また、地産地消を推進するため、地場産品レストランの認定制度を創設します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
市内産農畜産物の供給促進	生産者出張授業・地産地消キャンペーン	ホテル・レストラン等との交流会・産地見学会 各3回 地産地消推進店の登録 20店	ホテル・レストラン等との交流会・産地見学会 各3回 地産地消推進店の登録 20店
地場産品レストランの認定制度の創設	調査	制度創設	認定2件

●市内産品の競争力強化（経済企画課）【再掲】

市内産品の付加価値を高め競争力強化を図るため、商品アドバイス会やプロモーション活動を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
高付加価値品の販路開拓	—	2店	2店
普及品の販路開拓	—	6店	6店

5-3-2 安定した農業経営体の育成

施策の展開

- 本市の農業を取り巻く環境は、耕作放棄地の増大や農業従事者の高齢化、担い手不足など厳しい状況にあり、安全で安心できる農畜産物の安定供給と安定した農業経営体の確保・育成を図る必要があります。
- 優良農地の確保を図るため、農業生産基盤の整備を進めるとともに、耕作放棄地対策を推進します。
- 意欲ある農業の担い手を確保・育成するため、新規就農希望者や定年帰農者等に対し研修を行い、就農を促進します。また、地域農業の活性化を図るため、「人・農地プラン」に基づき、今後の地域農業の中心となる経営体を位置付けるとともに、「人・農地プラン」の細分化を行い、農地中間管理機構の交付金を活用するなど、意欲ある農業者への農地集積・集約を促進します。



新規就農者研修

計画事業

1 優良農地の確保と有効利用

●耕作放棄地対策の推進（農業生産振興課）

耕作放棄地の未然防止を図るため、貸し出し用の大型草刈機を導入します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
大型草刈機の導入	—	1台	1台

●緑農住区開発関連土地基盤整備の推進（農業環境整備課）

都市近郊農業の生産基盤と一体的に良好な住宅用地の創出を図るため、道路の整備を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路整備等	309m	470m	779m

●北総中央用水の利活用の推進（県営事業）（農業生産振興課、農業環境整備課）

北総中央用水の利活用による安定的な農業生産基盤を確保するため、農業用水設備を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
農業用水設備の整備	—	基本設計、実施設計、工事	工事

2 意欲ある担い手の確保・育成

●農業の担い手育成（農業経営支援課）

農業の担い手を確保・育成するため、農業知識の習得や技術の向上を図れるよう、新規就農希望者研修を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
新規就農希望者研修	修了 20人	10人	30人

●「人・農地プラン」による地域農業の活性化（農業経営支援課）

農業の担い手不足など、人と農地の問題を解決するため、地域の中心となる経営体の追加やモデル地域の選定など、「人・農地プラン」の更新を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
「人・農地プラン」細分化	一	10地区	10地区
「人・農地プラン」更新	18経営体	9経営体増	27経営体

●農業経営体の育成（農業生産振興課）

都市農業として生産性の高い農業経営体を確立するため、作業の効率化や省力化を図る農業用機械や栽培施設の整備に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
農業用機械施設の整備	1件	8件	9件

5-3-3 農村と森林の持つ多面的機能の活用

施策の展開

- ⊕ 農業や農村は、市民に対し安定的に食料供給する役割のみならず、生産活動を通じ、「やすらぎ」や「うるおい」をもたらすなど、多面的な機能を有しています。農業に親しむ機会を提供するため、農家の適切な指導のもとで農業を体験できる市民農園などの整備を促進とともに、都市等との地域間交流を図るために設置される農家レストランなど、地域農業の振興に資する施設の設置を検討します。
- また、車いすの方でも利用できるよう身障者トイレの整備などを支援します。
- ⊕ 本市では、森林所有者の高齢化や木材価格の低迷、1人当たりの森林所有面積が少なく、施業効率が低いため、森林の適正な保全管理が困難な状況となっており、有害鳥獣の生息域の拡大や、広葉樹などの多様な樹木の消失、災害防止機能への影響など、森林の持つ多面的機能が低下しています。このため、森林を「市民共有の資産」として位置付け、市民、団体・企業と連携して、健全な森林の保全に取り組みます。
- ⊕ 里山の保全については新たなボランティア団体の設立や、リーダーとなる人材の育成に努めるとともに、里山ボランティアや森林組合、所有者等が連携しながら、保全管理が円滑に進められるよう、取り組みます。

計画事業

1 都市と農村の交流

● 農とふれあう機会の充実（農政課、農業経営支援課）

都市と農村の交流を促進するため、市民農園等の整備、観光農園のバリアフリートイレ整備に対する助成を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
市民農園等の整備	34か所	6か所	40か所
農業体験農園整備	3か所	1か所	4か所
バリアフリートイレ整備	8か所	3か所	11か所

2 農村環境の整備と保全

● 農業集落排水施設の改修（農業環境整備課）

農村の生活環境を保全するため、農業集落排水における老朽化した設備を改修します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
施設改修 大和田地区	最適整備構想策定 事業計画作成	実施設計、改修工事	改修完了
平川地区	最適整備構想策定	事業計画、実施設計	実施設計

■有害鳥獣対策の推進（農業経営支援課）

有害鳥獣による農作物被害を軽減するため、捕獲した個体の処分等に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
有害鳥獣の捕獲	23頭/年	23頭/年	23頭/年

3 森林の多面的機能の活用

■里山の保全（農業経営支援課）



里山地区の保全管理活動を促進するため、市民参加によるイベント等を開催します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
市民参加によるイベント等の開催	1地区	1地区増	2地区

参加と連携

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



1 里山地区の管理

本市は、「里山地区」の指定にあたり、森林所有者と使用貸借契約を締結するとともに、保全管理に関する協定を締結し、森林ボランティア団体に管理を委託しています。

現在、NPO法人ちば森づくりの会（第1水曜日、第1・2・3・4土曜日）、千葉市里山ボランティアの会（毎月1日、9日、17日、25日）がボランティア活動をしています。☎農業経営支援課（043-228-6275）